

TAKIYA

Picture hanging system
KOREDER LINE

<http://www.takiya.com/>

PICTURE RAIL USER MANUAL

タキヤ株式会社

大阪本社 大阪市中央区島之内1-10-12 〒542-0082
TEL.06-6253-0331 FAX.06-6253-0339
東京営業所 東京都港区南青山1-4-2 八並ビル2F 〒107-0062
TEL.03-5410-0992 FAX.03-5410-0998

E-mail info@takiya.com <http://www.takiya.com/>
15.07.MA



このパンフレットはエコマーク認定の再生紙を使用しています。

取扱説明書

よりよい展示のために
ピクチャーハンギングシステム コレダーライン
ユーザーマニュアル

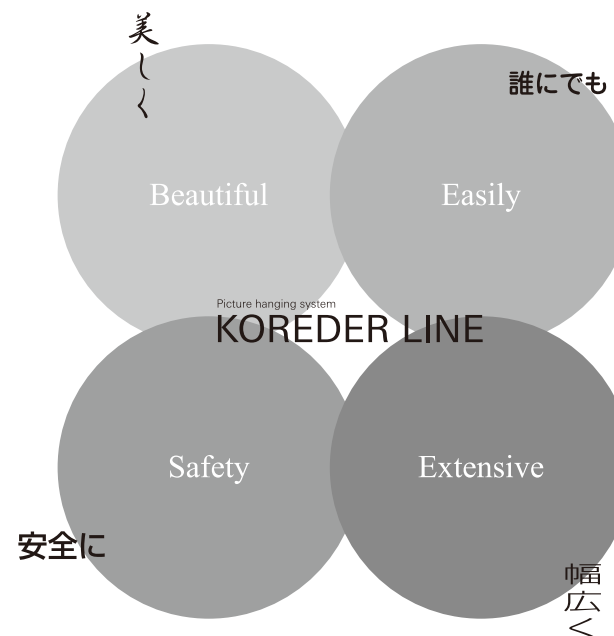


絵画を展示する、ということ。

古代ギリシャ時代、芸術は人々の近くにありました。しかしその後中世を通して、ヨーロッパにおける絵画は、教会の壁面を飾る宗教画へと、また一般には公開されることのない権力者たちの私的なコレクションへと変わっていきます。そして、これらがより多くの人の楽しみへと開かれるようになるには、さまざまな運動や革命など長期にわたる社会発展を待たねばなりません。現在では当然のことである『公共の場における絵画の展示』、それは長い歴史の波を経てようやく実現した、かけがえのない行為なのです。

いま、展示に望まれること。

現在の展示空間、それは、ある意味で複雑化しているといえます。たとえば、照明やBGMはもとより映像の助力や体験的要素をもつものなど、さまざまな二次的要素が登場してきています。だからこそ、これからの展示空間は、いっそう簡潔に洗練され、作品を邪魔しないものであることが望めます。より美しく、見やすく、安全でしかも、誰にでも、フレキシブルな展示ができること。それらが大切なポイントになってくるといえます。



しなやかな感性を磨く。豊潤な知識を養う。そして、心なごむ時間を過ごす。…日常にちりばめられた展示空間で、私たちは多くの価値ある“サムシング”を得ています。いつの時代においても、人と空間、その関係がより美しく、実り多いものであるために——コレダーラインは、常に新しいビジュアル・フィールドを見つめ、展示空間にゆたかな可能性を拓きます。

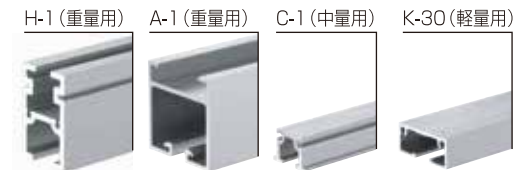


ワイヤとハンガーで吊る。

目立たず強度に優れたステンレスワイヤと展示物を美しく安全に吊るす専用ハンガー、この2つのパーツを組み合わせたハンガーセットによって、壁面を傷つけず、しかも展示物の美観を損ねることなく、自在に高さ調節することが可能になります。用途に合わせて、展示物の重量に合わせて、より美しく、簡単に。そこには、次の展示空間への確かな回答があります。

ピクチャーレールについて

展示物の吊り下げ用レールや廻り縁として、壁面をキズつけることなく幅広い用途に対応。設計段階で取り付ける先付けタイプと既存の天井面や壁面に取り付ける後付けタイプがあります。展示物の重量（重量用・中量用・軽量用）と取り付け条件にあわせてお選びください。



フックについて

大切な展示物をしっかりと、安全に支えるためのパーツ。しかも、展示空間への美観を考慮したシンプルなデザインが求められます。一般的に、「プッシュ固定式」「プッシュ締込式」「引掛式」「ランナー式」、そして「スライド式」の4種があります。レールを決定したうえで、展示用途に合わせてお選びください。



ハンガーセットについて

ハンガーセットは、ワイヤとハンガーの組合せで重量物用から軽量物用まで使用目的にあわせてお選びいただけます。また、地震や盗難対策に対応したセフティタイプもあります。

ワイヤ

細くて目立たないワイヤは重量物展示にも耐える強靱さがあり、壁面を傷つけることなく美観を損ねない展示を可能にします。また、優れた可動性も特徴です。展示物の重量に応じたワイヤを選択、折れ、端部のほつれないことを確認したうえでご使用ください。

ハンガー

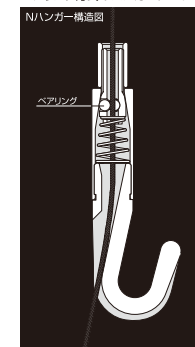
操作性・安全性・耐久性の点から、ベアリングタイプが一般的で、“吊る”ことへの安全性に加え、展示物および空間の美観への配慮が求められるパーツ。セフティストッパー（はすれ防止機能）の付いたものが主流です。重量用・中量用・軽量用と、展示物の重量に応じたお選びください。

※カラーワイヤについて
カラーワイヤ（オプション）は、通常ワイヤにカラーナイロンを被覆させたワイヤです。全9色からお選びいただけます。

ワイヤ（カラーワイヤ）は7×7（SUS 304）です。線径により推奨荷重が異なりますので、必要荷重に応じたお選びください。
φ2.0mm=50kg
φ1.5mm=30kg
φ1.2mm=20kg



ベアリング方式のハンガーについて





推奨荷重について

推奨荷重とは…

フック・ハンガーは当社テストの結果、破断（破損）荷重の1／3以内を推奨荷重と定めています。それは、不慮の出来事（作業中の事故・地震など災害による事故など）から大切な作品を守るためのものです。

展示方法をお守りいただくことの大切さ…

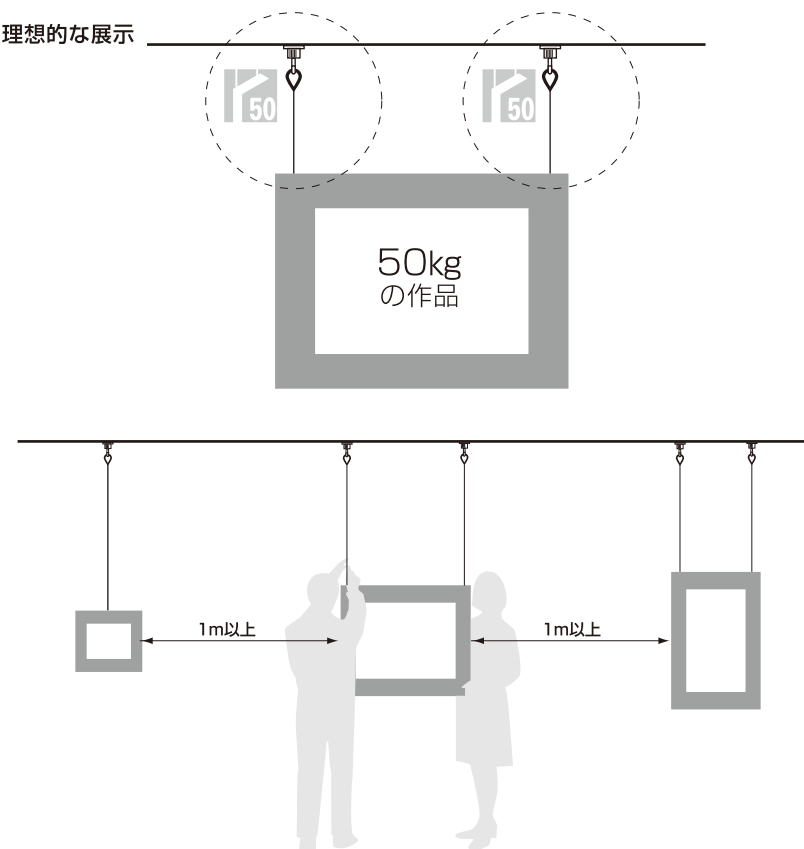
レール強度、フック・ワイヤ各1個（本）の推奨荷重が50kgであれば、100kgの作品を2本のワイヤで吊る事が可能だと考えられます。しかし、展示作業中、片方の作業者が手を滑らせたり、片方を先に吊りもう一方を後で吊ったりした場合、片側のワイヤに全荷重がかかることが十分考えられます。これらを考慮し、2本吊りの場合でもワイヤ1本で支えられる重量を推奨荷重としてお守りください。

複数の額縁展示について……

1作品が推奨荷重を満たしている場合、その額縁の大きさや種類にも大きく左右されますが、展示間隔は基本的に1m以上の間隔をあけて吊るせる点数が理想的です。

また、地震などの揺れに対しても額縁同士の衝突を防ぐために十分な間隔を取ることをお勧めいたします。

理想的な展示



ピックアップレールとフックの組合せ

ピックアップレール 推奨荷重	ピックアップレール	取付ピッチ (mm)	適用フック	
100kg	H-1	455	Hフリーフック・Hスライドフック	
	L-1	455	Lフリーフック	
70kg	A-1	455	Aフリーフック・Aフリーランナー・ABフリーランナー Aワンタッチフック・Aワンタッチランナー・ABワンタッチランナー	
	A-1A			
	A-1S			
	A-2			
	D-1A	350	Dフリーフック・Dワンタッチフック ミニDフリーフック ※推奨荷重25kg	
	D-1B	455		
	D-1C			
	D-1D			
	I-1	455	Iフリーフック・Iワンタッチフック	
	I-2			
	J-1	455	Jフリーフック・Jフリーランナー Jワンタッチフック・Jワンタッチランナー	
	J-2			
50kg	M-1	455	Mフリーフック・MSフリーランナー Mワンタッチフック・MSワンタッチランナー	
	M-1S			
	M-2			
	M-3			
	M-4	350		
30kg	C-1	300	CAフック CBフック CAワンタッチフック ミニAフック ミニワンタッチAフック ミニワンタッチBフック ※推奨荷重20kg	
	C-1A			
	C-2A			
	C-2B			
	C-2D			
	C-2E			
	C-2S			
	C-3A			
	C-5			
	C-5A			
	F-1	455	CAフック CAワンタッチフック ミニAフック・ミニワンタッチAフック ※推奨荷重20kg	
	F-1S			
	F-2			
20kg	S-1A	300	CAフック CBフック ミニAフック ミニワンタッチAフック ミニワンタッチBフック KAフック・KBフック ※推奨荷重10kg	
	S-1S	455		
	S-2A	300		
	K-16	300		
	K-20			
	K-20A			
	K-30			
10kg	G-1	455	CAフック・ミニAフック・ミニワンタッチAフック	
8kg	G-2	300	G2スライドフック・G2フック	

推奨荷重をお守り頂いていますか？
ご確認ください！
●ピックアップレール
●フック
の推奨荷重を……。

●ピックアップレール・フックの組合せで最も小さい推奨荷重が総合的な推奨荷重となります。

ハンギングシステム組合せ

荷重	レールタイプ	フック／ランナー	ハンガーセット												
			Rハンガー セフティRハンガー	Nハンガー・セフティNハンガー						ミニハンガー・セフティミニハンガー Sミニハンガー・セフティSミニハンガー					
			φ3.0mm	φ2.5mm		φ2.0mm		φ1.5mm		φ1.2mm					
			A	A	B	A	B	A	B	A	B	A		A	
100kg	Hタイプ	Hフリーフック	●	●		●		●							
		Hスライドフック	●	●		●		●							
		セフティHハンガーセット	● フックとワイヤとハンガーが一体のセットです												
		セフティHスライドハンガーセット	● フックとワイヤとハンガーが一体のセットです												
	Lタイプ	Lフリーフック	●	●		●		●							
		セフティLハンガーセット	● フックとワイヤとハンガーが一体のセットです												
70kg	Aタイプ	Aフリーフック		●		●		●		●					
		Aフリーランナー		●		●		●		●					
		ABフリーランナー		●		●		●		●					
		Aワンタッチフック			●		●		●						
		Aワンタッチランナー			●		●		●						
		ABワンタッチランナー			●		●		●						
	Dタイプ	Dフリーフック		●		●		●		●		●			
		Dワンタッチフック			●		●		●						
		ミニDフリーフック									●				
		セフティミニDハンガーセット	● フックとワイヤとハンガーが一体のセットです												
		ミニDハンガーセット	● フックとワイヤとハンガーが一体のセットです												
	Iタイプ	Iフリーフック		●		●		●		●		●			
		Iワンタッチフック			●		●		●		●				
	Jタイプ	Jフリーフック		●		●		●		●		●			
		Jフリーランナー		●		●		●		●		●			
		Jワンタッチフック			●		●		●		●				
Jワンタッチランナー				●		●		●		●					
50kg	Mタイプ	Mフリーフック				●		●		●					
		MSフリーランナー				●		●		●					
		Mワンタッチフック					●		●						
		MSワンタッチランナー					●		●						
30kg	Cタイプ Fタイプ	CAフック						●		●					
		CBフック (G-1タイプ不可)							●		●				
		CAワンタッチフック								●					
20kg	Sタイプ Kタイプ	ミニAフック								●					
		ミニワンタッチAフック										●			
		ミニワンタッチBフック (G-1タイプ不可)										●			
10kg	G-1タイプ	KAフック											●		
		KBフック (G-1タイプ不可)											●		
8kg	G-2タイプ	G2スライドフック													●
		G2フック													●
総合的な推奨荷重			100kg	70kg		50kg		30kg		20kg		10kg		8kg	

推奨荷重をお守り頂いていますか？
ご確認ください！

●ピクチャーレール
●フック
●ハンガーセット
の推奨荷重を……。

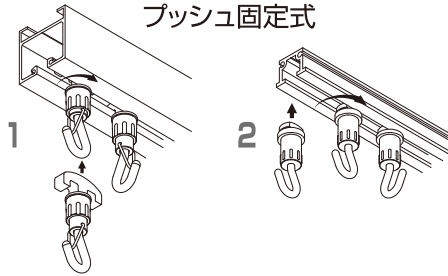
注1) 推奨荷重は静止状態での荷重です。
注2) レール・フック・ハンガーセットの組み合わせで最も小さい推奨荷重が総合的な推奨荷重となります。

手順と取扱方法

- 1 展示物(額など)の大きさに合わせフック位置を決めます。
- 2 フックにハンガーセットを取付けます。
- 3 ハンガーを調整して高さを合せます。

1 フックの取付け方は5方式です。

プッシュ固定式

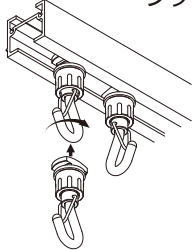


ピックチャーレールの溝にそってフックを挿入し押し込みながら90°回転させレール内へ落とし込みます。ローレット部に内臓されたバネにより固定されます。最後にフックが回らないか確認してください。

ピックチャーレールの溝にそってフックを挿入し少し押し込みながら90°回転させます。フック上部のパッキンによりレールに固定されます。最後にフックが回らないか確認してください。

- 1 Aフリーフック・Aワンタッチフック
- 2 CAフック・CAワンタッチフック
ミニワンタッチAフック・ミニAフック
G2フック

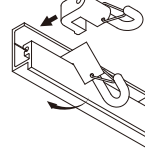
プッシュ締込式



フックのローレットネジをゆるめ、ピックチャーレールの溝にそってフックを挿入し押し込みながら90°回転させレール内へ落とし込みます。ローレット部に内臓されたバネにより固定されます。更にローレットネジを締めピックチャーレールに完全固定させます。最後にフックが回らないか確認してください。

Hフリーフック・セフティHハンガーセット
Mフリーフック・Mワンタッチフック

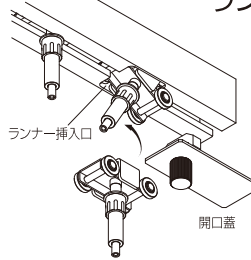
引掛式



フックをピックチャーレールの溝にそって挿入し90°回転させ定着させます。

Lフリーフック・セフティLハンガーセット
Dフリーフック・Dワンタッチフック
Iフリーフック・Iワンタッチフック
Jフリーフック・Jワンタッチフック
CBフック
ミニDフリーフック
ミニワンタッチBフック
ミニDハンガーセット・セフティミニDハンガーセット

ランナー式

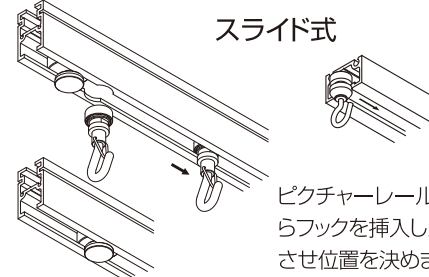


開口蓋をランナーレールからはずし、挿入口を開けます。ランナーは挿入口から出し入れします。ランナー挿入後は開口蓋を取付け、挿入口を閉じます。開口蓋はしっかりとレールに固定させてください。

※J-1、J-2ランナーレールの挿入口は、丸型の開口蓋(ネジ式)を緩めそのままレール溝に沿ってスライドさせることにより開口します。

Aフリーランナー・Aワンタッチランナー
ABフリーランナー・ABワンタッチランナー
Jフリーランナー・Jワンタッチランナー
MSフリーランナー・MSワンタッチランナー

スライド式



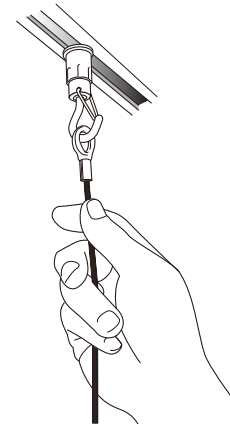
ピックチャーレール端部からフックを挿入しスライドさせ位置を決めます。

※H-1ランナーレールの挿入口は丸型の開口蓋(バネ式)を下方へ引きレールに沿ってスライドさせる事により開口します。

Hスライドフック・セフティHスライドハンガーセット
KAフック・KBフック
G2スライドフック

2 フックにハンガーをセットします。

・ハンガーセットA(フックとの連結方法)



フックまたはランナーのフック部にハンガーセットAのワイヤシンプル部を引っ掛けます。

※フック部にセフティストッパーが付いていないフックについては脱落防止にワイヤループ固定用のセフティストッパーSL-4・SL-5(別売)の装着をお奨めいたします。

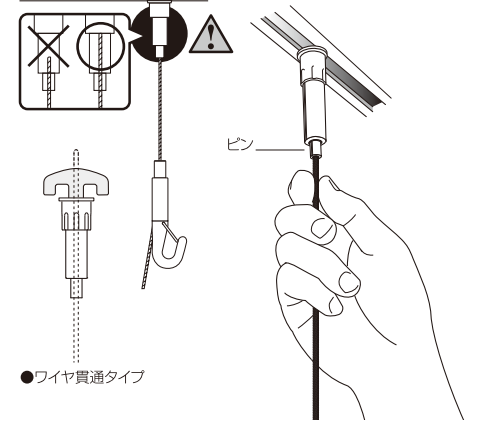
適用フック

Hフリーフック
Lフリーフック
Aフリーフック
Aフリーランナー
ABフリーランナー
Dフリーフック
ミニDフリーフック

Jフリーフック
Jフリーランナー
Iフリーフック
MSフリーランナー
Mフリーフック
CAフック
CBフック

ミニAフック
KAフック
KBフック
G2フック
G2スライドフック

・ハンガーセットB(ワンタッチフックとの連結方法)



ワンタッチフック先端部のピンにハンガーセットBのワイヤを差し込むと、ワイヤはロックされます。

●ワイヤの取付:ワンタッチフック先端部のピンの挿入口へピンを押し上げずにフック頭部よりワイヤが抜け出るまで差し込んでください。但しABワンタッチランナーとJワンタッチフック・Jワンタッチランナーはワイヤがフックの奥に当たるまで強く差し込んでください。
●ワイヤの取り外し:ワンタッチフック先端部のピンを押しながらワイヤを引くと抜けます。

適用フック

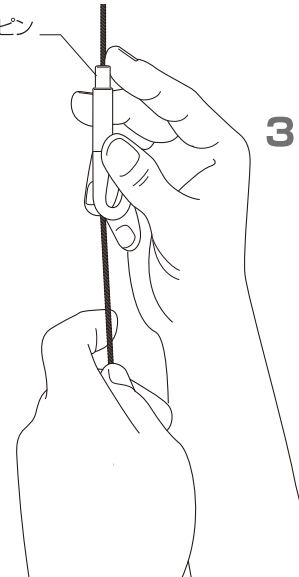
ワイヤφ2.5
Aワンタッチフック
Aワンタッチランナー
ABワンタッチランナー
Dワンタッチフック
Iワンタッチフック
Jワンタッチフック
Jワンタッチランナー

ワイヤφ2.0
Mワンタッチフック
MSワンタッチランナー

ワイヤφ1.5
CAワンタッチフック

ワイヤφ1.2
ミニワンタッチAフック
ミニワンタッチBフック

キャップピン



3 ハンガーの高さを調整します。

ハンガーのキャップピンをゆるめ(ミニハンガー・セフティミニハンガーはそのまま)、キャップピン(ピン)の挿入口へワイヤを通します。フック部から出たワイヤを持ち、もう一方でキャップピン(ピン)を押しながらハンガーの位置を調整します。ハンガーはキャップピン(ピン)を離すとロックされます。なお、ハンガーの位置が決まれば必ず最後にキャップピンをしめて下さい。ミニハンガー・セフティミニハンガーは不要。

(注)ミニハンガー・セフティミニハンガーのピンは、スプリング方式(キャップピン:ねじ式方式のように絞め込んで固定できません)の為、不意に使用されますと展示物が落下する恐れがあります。展示中はハンガーに手を触れないでください。

より安全を確保するために…

地震や不慮の出来事からのセフティサポート

不慮の出来事に遭遇することは予測できる事ではありません。未曾有の大規模な震災等がこれにあたります。当社はこのような震災において多くの破損原因となるデータを集約調査の結果、得ることができました。「ワイヤの破断事故は、高層ビル内にある美術館で確認され、それも横揺れが原因であることが判明しました。また、震源地付近の美術館では、激しい縦揺れによるフック、ハンガーの脱落が確認され、ワイヤの破断はほとんどみられませんでした。」このように大規模な震災から様々な原因を解明することができました。これらを未然に防ぎ、絵画展示の見かけも損なわず、大切な作品を守るセフティサポートアイテム等の併用をお奨めいたします。

額の脱落防止に…

不慮の脱落や盗難などの対策に、安全性を高めるセフティストッパー（はすれ防止機能）付ハンガー。



ワイヤ展示による

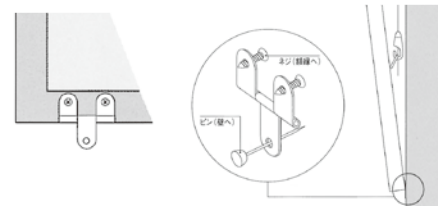
横揺れ防止金具

絵画作品を地震から守るために開発された横揺れ防止補助金具です。額縁の下部に取付け、揺れを防止します。また盗難防止としての効果もあります。



●AS耐震金具

PAT.P



ワイヤの脱落防止に…

フリータイプのフックおよびランナーに装着する脱落防止用ストッパーSL-4とSL-5は簡単な装着で安全性の高いストッパーです。



●SL-4 PAT.P

CAフック
CBフック



●SL-5 PAT.P

I・Jタイプの
フリーフックとフリーランナー
ABフリーランナー
MSフリーランナー



**安全のため、
類似品およびコピー品には
ご注意ください!**

タキヤ製品の類似品およびコピー品による事故が多発しています。コレダーラインの展示システムは安心してご使用いただけますよう、当社安全基準が定めた各パーツの組合せにより安全性を高めております。当社製品をご購入および建築時の導入の際はシステム全てがタキヤ(TAKIYA)オリジナル品であるかをご確認ください。

TAKIYA

注意事項について

展示箇所移動の注意事項

- 展示物を取り付けたまま移動しないでください。
- 展示物を外し、必ずフックまたはランナー部から任意の位置まで移動させた後、展示物をセットしてください。

ピクチャーレール取扱注意事項

- ピクチャーレールの取付けピッチは、300mm～455mmです。(レールタイプにより異なりますので取付前にご確認ください。)
- ピクチャーレールのジョイント部および端部は、50mm以内にネジおよびブラケットで取付けてください。
- ランナー式フックをご使用の場合は必ず、レール取付け時にランナー挿入用のランナーレールを取付けてください。(直線レールの1スパン当たり1箇所)
- 勾配部でのレールの取付けはしないでください。(ハンガーセットを吊った時は必ず、レールとハンガーセットが直角になるように取付けてください。)
- ピクチャーレールの取付けは必ず、補強された下地に取付けてください。

フック取扱注意事項

- ランナー式フックを後入れでご利用になる場合、ランナー挿入用のランナーレールの取付けが必要になります。(直線レールの1スパン当たり1箇所)
- 推奨荷重を超えた展示物等は危険を伴いますので、吊らないでください。
- 推奨荷重は、諸条件やハンギングシステムの組合せにより変わることがあります。
- フック、ランナーは、レールに適応したもの以外使用できません。

ワイヤ取扱注意事項

- 展示作業の前に、折れ又は端部のほつれがないかを確認してください。
- 推奨荷重を超えた展示物等は危険を伴いますので、吊らないでください。
- 水につけないでください。
- 独自に切断および加工を加えないでください。
- 汚れを落とすときは、乾いた布でふき取ってください。
- カラーワイヤは、薄い被膜でコーティングされているため、摩擦などにより傷または剥がれる恐れがあります。カラーワイヤとハンガーの接点となる箇所の擦れに注意してください。

ハンガー取扱注意事項

- 展示作業の前に、
 - 1.変形がないかを確認してください。
 - 2.ハンガーにワイヤを通して、ロックするかを確認してください。
- 水につけないでください。
- 独自に切断および加工を加えないでください。
- 汚れを落とすときは、乾いた布でふき取ってください。